

## 仙台市震災復興検討会議委員からの意見（概要）

## I はじめに（ビジョン・計画全般について）

（復興の目標及び方向性）

- ・ 犠牲で得た多くの教訓を被災地発の財産に（川田委員）
- ・ 「震災前よりも良くする」「世界一住みたい都市」を実現することを復興の最終ゴールに（堀切川委員）
- ・ 市民、国民に分かりやすい復興計画のネーミング（例：世界一住みたい都市「ドリームシティ仙台」創造計画（堀切川委員）
- ・ 仙台市の目指す都市づくりの方向性の明示（方向性を総合キーワード1つで明確に定め、その下に4つの切り口を配置するよう整理する等）（堀切川委員）
- ・ 仙台市基本構想との関係で、何を変更しなければいけないか、どのような要素を付け加えるか（牧原委員）
- ・ 市民力を回復させ、市民が主体となって復興のまちづくりをすすめていく方向性の強調（宗片委員）
- ・ 男性と女性がともに復興に向けて取り組んでいく方向性の明示（宗片委員）
- ・ 新次元とは何か？ 「新しい視点からの都市政策」「減災」「都市防災・エネルギー利用の見直し」（渡邊委員）
- ・ 基本計画との整合性（渡邊委員）

（計画期間）

- ・ 震災の規模、被害状況の甚大さに鑑み、計画期間を10年間に設定（堀切川委員）

（フェーズに応じた仕分け、期限の設定等）

- ・ スピード感をもって対策を講じるため、期限を明示できる案件については個別に提示（板橋委員）
- ・ 時間のスケールを意識した仕分けが必要（風間委員）
- ・ 「短期・中期・長期」に分けて、取り組むべき具体的復興内容を策定（堀切川委員）

## II 被災者の生活再建と被災地域の復興に向けて

## 1 被災者の生活再建・自立に向けた支援

- ・ 被災された人びとの哀しみの慰藉と復興を担う人びとの心の健康に向けたメンタルヘルス対策（浅野委員）
- ・ 生活再建・自立支援など現在行われているさまざまな支援の検証と見直し（板橋委員）
- ・ 仮設住宅における地域包括ケアの推進（超高齢化社会を乗り切るテストケースとして）（辻委員）

## 2 東部地域の住まい・生産の再構築

- ・ 東部地域の防災・減災を考慮した新しい土地利用のあり方、農業の再生（鎌田委員）
- ・ 七北田川南側の東部地域の再構築（中井委員）  
（環境に配慮した美しい田畑、安全・安心な食料生産基地、バイオマスエネルギー生産、見て喜びを感じることができる農村、フィールド系リクリエーション・スポーツ施設を完備した海岸公園、産官学共同による農地利用方策の構築、農業園芸センターの見直し、地域自立型エネルギー生産に対する支援 等）
- ・ 復興住宅（環境性能、高効率機器、自立性能）、公共施設再整備、メガソーラー（渡邊委員）

## 3 丘陵地区等の宅地の再建

- ・ 斜面住宅地（盛土、切盛境界）、河川周辺（軟弱地盤）（渡邊委員）

## 4 地元中小企業支援

- ・ 被災企業の復旧に向けた緊急を要する課題（お金）への対応（川田委員）
- ・ 「地元中小企業支援」だけでなく、「地域企業・地域産業支援」として取り組むべき（堀切川委員）

## Ⅲ 仙台の復興に向けた新次元都市づくり

### 1 防災先進都市

- ・ 震災時における公的支援の立ち遅れやニーズに合致しない供給に対する徹底した反省（板橋委員）
- ・ 土地の災害履歴、改変履歴、利用履歴、地盤地質構成などの情報の積極的公開（風間委員）
- ・ 地域防災計画の総括及び長町・利府断層による内陸直下型地震への対応（風間委員）
- ・ 医療機関の防災力強化とネットワーク化（辻委員）
- ・ 災害についての情報発信と記録保存、防災教育・震災の記憶伝承を含めた新しい教育（牧原委員）
- ・ 地域住民主体の防災の取り組みに向けた地域防災リーダーの養成等（宗片委員）
- ・ 避難所のあり方を仙台モデルとして検討・発信（宗片委員）
- ・ 次の震災への備え（利府長町断層、宮城県沖地震、風水害、異常気象）（渡邊委員）
- ・ 防災計画の検証・拡充（渡邊委員）

### 2 省エネルギー・環境先進都市

- ・ 震災廃棄物・津波堆積物（土砂）等の有効利用に向けた積極的な方針の提示（風間委員）
- ・ スマートコミュニティ（渡邊委員）  
（環境観測網復旧・充実、再生可能エネルギーの積極的導入、エネルギー源のネットワーク化、機器運転の最適制御）

### 3 支え合いと協働のコミュニティ先進都市

- ・市内のコミュニティの再建だけではなく、震災後東北地方に関心を寄せる国内外の人々との「つながり」を確かなものに（牧原委員）
- ・日頃、地域参加の少なかった層の住民も巻き込んだ新しい地域コミュニティを創り出していく方法の検討（宗片委員）

### 4 東北を牽引する経済活力都市

- ・東北・仙台の元気を発信に向けた文化・観光施設の早期復旧（鎌田委員）
- ・復興を末永く祈念する文化施設の創設（鎌田委員）
- ・コンベンション・シティとしての仙台市の発展（辻委員）
- ・震災によって落ち込んだ観光業の復活（国際会議の積極的誘致等の施策）（牧原委員）

## IV 復興計画の策定と推進に向けて

- ・財源の問題、行財政改革をどのように進めるのか（牧原委員）
- ・特区構想をどう提案するか（牧原委員）

## その他

- ・外部支援を受け入れる窓口の整備と情報の収集、開示の強化策（川田委員）
- ・「仙台市復興オリジナルバッジ」の製作（堀切川委員）
- ・復興ビジョン作成過程の検証が必要（牧原委員）  
（住民ヒヤリングについての検討、行政サービスの抱える問題についての説明、震災関係の情報の分かりやすい提供、市の復興の目的についての説明）
- ・防災とエネルギー供給という震災後の「文明」的課題に仙台市はどう答えるのか（牧原委員）
- ・仙台市が若い世代に伝える歴史的遺産とは何か（牧原委員）
- ・日本の国土形成の中での仙台市の位置づけは何か、他地域に対するバックアップ機能をどの程度担うべきか（牧原委員）
- ・国際社会の中で仙台市が担う役割は何か（牧原委員）
- ・震災後の福祉、雇用の問題への対応（牧原委員）
- ・被災地となった他の地域と連携・協力した復興の実現（宗片委員）
- ・ゾーニング（土地利用規制・都市計画の見直し、クリマアトラス、地盤情報）（渡邊委員）

※クリマアトラス：気候解析図